東京キリストの教会　ＱＴシリーズ　モーセシリーズ
2020年11月 2日～8日　5週目
出エジプト25章～29章

＜11月2日（月）＞　神様が宿る聖所　出エジプト25：1−9

出エジプト24章で神様と民との契約が結ばれました。25章からは神様が宿る聖域を準備することになります。どの場所でどのような形で神様が彼の民と歩むことが細かく教えられます。

*1 【主】はモーセに告げて仰せられた。2 「わたしに奉納物をささげるように、イスラエル人に告げよ。すべて、心から進んでささげる人から、わたしへの奉納物を受け取らなければならない。3 彼らから受けてよい奉納物は次のものである。金、銀、青銅、4 青色、紫色、緋色の撚り糸、亜麻布、やぎの毛、5 赤くなめした雄羊の皮、じゅごんの皮、アカシヤ材、6 燈油、そそぎの油とかおりの高い香のための香料、7 エポデや胸当てにはめ込むしまめのうや宝石。8 **彼らがわたしのために聖所を造るなら、わたしは彼らの中に住む。** 9 **幕屋の型と幕屋のすべての用具の型**とを、わたしがあなたに示すのと**全く同じように**作らなければならない。*

＊神様が宿る聖所（幕屋）を造る前にどのような心構えで神様に近づくことを整える必要があります。神様にとって「心から進んでささげる」ことに拘ります。
＊神様にふさわしい奉納物が具体的に定義されました。
＊神様の造る聖所に神様が彼らの中に住むと言いました。つまりこの聖所（幕屋）は神様が宿る場所であり、非常に大切な所です。
＊９節 「全く同じように作る」という表現を神様は繰り返し言います。英語だと Make everything according to the pattern. 型又はパターン通りに作ることが重要です。その理由は全てに意味がありこれらは「型」であり新約聖書にはその「対型」があります。細かい寸法や指示でこの箇所を読む時に退屈してしまう可能性がありますが、その意味を考えながら読んでください。

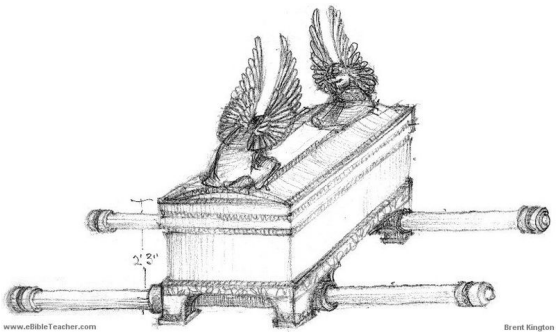
質問：
1）神様に何をささげていますか？（献金、自分の時間、量力）心から進んで喜んでささげているかどうか自分の心をもう一度吟味してください。自分の人生そのものを神様が喜んでくださるいけにえとして捧げることを心がけましょう。
2）あなたにとっての「聖所」はありますか？祈りの場所やＱＴをやる所？神様と対話するための特別な場所？なぜそこは神様と繋がれる場所になっていますか？

＜11月3日（火）＞　神の箱、机、金の燭台　出エジプト25：10−31

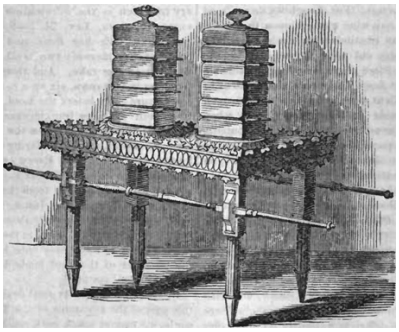
*＜神の箱＞　10 **アカシヤ材の箱**を作らなければならない。長さは二キュビト半、幅は一キュビト半、高さは一キュビト半。11 これに純金をかぶせる。それは、その内側と外側とにかぶせなければならない。その回りには金の飾り縁を作る。12 箱のために、四つの金の環を鋳造し、それをその四隅の基部に取りつける。一方の側に二つの環を、他の側にほかの二つの環を取りつけ*

*る。13 アカシヤ材で棒を作り、それを**金でかぶせる**。14 **その棒は、箱をかつぐために**、箱の両側にある環に通す。15 棒は箱の環に差し込んだままにしなければならない。抜いてはならない。16 **わたしが与えるさとしをその箱に納める。***

＊神の箱は10戒が刻まれた石の板が神の箱に収められていました。神様が共にいることを象徴する最も重要なものの一つです。（第一サムエル4章でペリシテ人に奪われ、バビロニアに神殿が滅ばされた時に神の箱が永久に消えてしまいました）
＊神の箱は棒で担がなければなりません。車に乗せてはなりません。（第二サムエル6章；ダビデはこの掟を守らず、落ちそうになった箱を触ったウザが殺されてしまいました）
＊アカシア材の特徴：丈夫、重さに耐えらます。抗菌作用もある。今でも家具に使われている高品質の木材です。



神の箱



捧げるパンを載せる机

純金の燭台

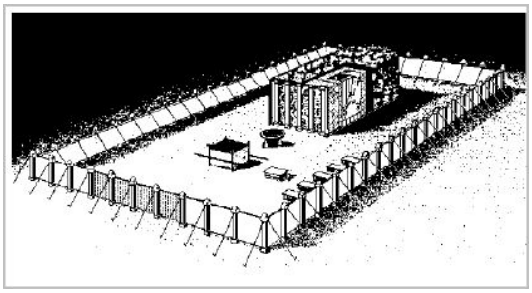
＜金の机＞　*23 机をアカシヤ材で作らなければならない。長さは二キュビト、幅は一キュビト、高さは一キュビト半。29 注ぎのささげ物を注ぐための皿やひしゃく、びんや水差しを作る。**これらは純金で作らなければならない。**30 **机の上には供えのパンを置き**、絶えずわたしの前にあるようにする。*

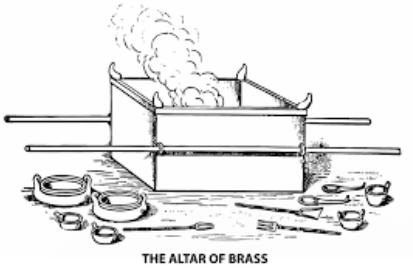
＜純金の燭台＞31 また、純金の燭台を作る。その燭台は槌で打って作らなければならない。それには、台座と支柱と、がくと節と花弁がなければならない。

*黙示録１：２０ わたしの右の手の中に見えた七つの星と、七つの金の燭台について、その秘められた意味を言えば、七つの星は七つの教会の御使いたち、**七つの燭台は七つの教会である**。*

＊この燭台は型であり、その対型は教会です。教会は純金のように清く、輝いています。
質問：　1）あなたにとって教会はどのように輝いていますか？
　　2）あなたと神様との関係はこの様に純金ですか？神様はあなたを純金として扱っておられます。

＜11月4日（水）＞ 幕屋　青銅の祭壇、幕屋の庭、純粋な油　出エジプト26章−27章





２６：1 次に、幕屋を覆う十枚の幕を織りなさい。亜麻のより糸、青、紫、緋色の糸を使って意匠家の描いたケルビムの模様を織り上げなさい。

２７：1 アカシヤ材で祭壇を造りなさい。縦五アンマ、横五アンマの正方形、高さは三アンマとする。2 祭壇の四隅にそれぞれ角を作り、祭壇から生えているように作り、全体を青銅で覆う。3 灰を取る壺、十能、鉢、肉刺し、火皿などの祭具はすべて青銅で作る。4 祭壇の下部には青銅の網目作りの格子を付ける。その網の四隅に青銅の環四個を取り付ける。

9 次に、幕屋を囲む庭を造りなさい。庭の南側に面して、その側のために亜麻のより糸で織った長さ百アンマの幔幕を張る。10 そのために、二十本の柱と二十個の台座を青銅で作り、柱の鉤と桁は銀で作る。11 同じようにして、北側に長さ百アンマの幔幕を張り、二十本の柱と二十個の台座を青銅で、柱の鉤と桁は銀で作る。12 庭の西側には幅五十アンマの幔幕を張り、十本の柱と十個の台座を作る。

20 あなたはイスラエルの人々に命じて、オリーブを砕いて取った純粋の油をともし火に用いるために持って来させ、常夜灯にともさせなさい。21 常夜灯は臨在の幕屋にある掟の箱を隔てる垂れ幕の手前に置き、アロンとその子らが、主の御前に、夕暮れから夜明けまで守る。これはイスラエルの人々にとって、代々にわたって守るべき不変の定めである。

＊　幕屋は神様が宿る場所であり、神の民が神様と交流する場所でした。モーセの時代にまだイスラエル人は遊牧民のようだったので、テントでした。後にソロモンの時代に神殿が建てられました。
＊青銅の祭壇は動物のいけにえを燃やして捧げるためのものでした。火を当てるので金ではなく、より火に強い青銅を使用し、丈夫なアカシアの木材を使用しました。（動物は重い）
＊幕屋を囲む庭の意味は人によって、幕屋との距離が違いました。大祭司しか入れない場所でした。男性しか入れない、女性は入れない箇所もありました。神殿の構造も同じでした。
＊幕屋（カーテン）が最も聖なる場所と民の間の分け隔てとなっていました。神殿の幕屋はイエスが十字架の死を全うした時に二つに敗れました。それは新しい契約では神様との関係において幕がないことを意味します。

質問：今自分の神様との距離はどうですか？どうすればより神様との距離を縮めることができますか？

＜11月５日（木）＞ 祭司の衣装パート1　出エジプト28:1−5、20−21

1 次に、祭司としてわたしに仕えさせるために、イスラエルの人々の中から、兄弟アロンとその子ら、すなわち、ナダブ、アビフ、エルアザルとイタマルを、アロンと共にあなたの近くに置きなさい。2 あなたの兄弟アロンに威厳と美しさを添える聖なる祭服を作らねばならない。3 あなたは、わたしが知恵の霊を与えたすべての知恵ある者たちに説明して、わたしの祭司として聖別されたアロンのために祭服を作らせなさい。4 彼らが作るべき衣類は、胸当て、エフォド、上着、格子縞の長い服、ターバン、飾り帯である。あなたの兄弟であるアロンとその子らが祭司としてわたしに仕えるときの聖なる祭服を作るために、5 彼らは金、青、紫、緋色の毛糸、および亜麻布を受け取る。

20 第四列藍玉ラピス・ラズリ碧玉これらの並べたものを金で縁取りする。21 これらの宝石はイスラエルの子らの名を表して十二個あり、それぞれの宝石には、十二部族に従ってそれぞれの名が印章に彫るように彫りつけられている。

＊祭司は神様と人の間に仲介するものでした。聖なるものになった上で祭司の務めを行うことが重要でした。神様の前に清い物として相応しくなるために、この特別な衣装がありました。
＊祭司の服は高級なものから作られました。これは来ている祭司のためではなく、神様のためです。
＊十二の宝石は十二部族を代表していることを思い起こさせるものでした。

質問:
あなたの好きな服装は何ですか？その服を着るとどのような気持ちになりますか？
もしとても偉い方の家に招待されたら、どのような服を来て行きますか？それを考え、神様の前に立つ時はどのような服（心の状態）を着るべきですか？

＜11月6日（金）＞　祭司の衣装　パート2　出エジプト28:34−36、43、ガラテア3：26−27

34 金の鈴の次にざくろの飾り、金の鈴の次にざくろの飾りと、上着の裾の回りに付ける。35 アロンが聖所で務めをするとき、この上着を着ける。それは彼が中に入って、主の御前に出るときにも、立ち去るときにも、鈴の音が聞こえるようにして、死を招くことがないためである。36 また、純金の花模様の額当てを作り、その上に印章に彫るように「主の聖なる者」と彫りなさ

い。43 アロンとその子らがそれを身に着けていれば、臨在の幕屋に入ったとき、あるいは聖所で務めをするために祭壇に近づいたとき、罪を負って死を招くことがない。これは彼とその後の子らにとって不変の定めである。

＊祭司の服に鈴があり、神様の目に立つ時、鈴がなります。民をそのことを知り、注目しています。つまり適当に神様に立つことは許されません。神様が指定された形で、正しい服を来て、心を整えた上で神様にふさわしい形でしか、旧約の時代は神様に近づくことができません。

ガラテア３：26 あなたがたは皆、信仰により、キリスト・イエスに結ばれて神の子なのです。27 洗礼を受けてキリストに結ばれたあなたがたは皆、キリストを着ているからです。

*ゼカリア3章では大祭司ヨシュアが汚れた衣を着ていました。これは罪が赦さていない状態を象徴します。ガラテア3章によると洗礼を受けた者は罪が赦され、キリストを着ています。黙示録に記されているように、キリストによる衣は真っ白で清いものです。

質問： 赦された罪を深く考え、思い出してみてください。自分の罪はどのように汚く、他人や神様を傷つけましたか？具体的にどの罪が赦されたことを感謝していますか？　本来汚い衣を来ているはずの自分がキリストの購いによって真っ白になっていることの恵みを今日一日感謝しましょう。

＜１１月７日（土）＞　祭司を聖別する　出エジプト２９章：３５－４３

*35 あなたはわたしが命じたとおり、アロンとその子らのために七日の間任職式を行いなさい。36 **罪の贖いのために毎日**、贖罪の献げ物の雄牛をささげ、祭壇のために罪の贖いの儀式を行って、それを清め、またそれに油を注いで聖別しなさい。37 七日の間、祭壇のために罪の贖いの儀式を行って、聖別すれば、祭壇は神聖なものとなる。祭壇に触れるものはすべて、聖なるものとなる。38 祭壇にささげるべき物は次のとおりである。毎日絶やすことなく一歳の雄羊二匹を、39 朝に一匹、夕暮れに他の一匹をささげる。40 そして、朝ささげる雄羊には四分の一ヒンのオリーブを砕いて取った油を混ぜた十分の一エファの小麦粉と、四分の一ヒンのぶどう酒の献げ物を加える。41 また、朝と同じく夕暮れにも、雄羊に穀物の献げ物とぶどう酒の献げ物を加え、燃やして主にささげる宥めの香りとする。42 これは代々にわたって、臨在の幕屋の入り口で主の御前にささぐべき日ごとの焼き尽くす献げ物である。わたしはその場所で、あなたたちと会い、あなたに語りかける。43 わたしはその所でイスラエルの人々に会う。そこは、わたしの栄光によって聖別される。*

質問：
＊　バプテスマを受けた時に何を神様に捧げましたか？捨てた物や犠牲にした物はありましたか？
＊　今神様に何を捧げていますか？神様はあなたの捧げる心をどの様に思っているでしょうか？

＜１１月８日（日）＞　祭司を聖別する　出エジプト２９章:８－１２、４３－４５

8 次に、アロンの子らを前に進ませ、彼らに長い服を着せ、9 飾り帯を締め、ターバンを巻く。彼らの祭司職はこうして、不変の定めにより、彼らのものとなる。次に、アロンとその子らの任職式を行う。10 まず、雄牛を臨在の幕屋の前に引いて来る。アロンとその子らは手を雄牛の頭に置く。11 あなたはそれを主の御前、臨在の幕屋の入り口で屠る。12 次いで雄牛の血を器に取り、その一部を指で祭壇の四隅の角に塗り、血は全部祭壇の基に流す。

43 わたしはその所でイスラエルの人々に会う。そこは、わたしの栄光によって聖別される。44 わたしは臨在の幕屋と祭壇を聖別し、またアロンとその子らをわたしに仕える祭司として聖別する。45 また、わたしはイスラエルの人々のただ中に宿り、彼らの神となる。46 彼らは、わたしが彼らの神、主であることを、すなわち彼らのただ中に宿るために、わたしが彼らをエジプトの国から導き出したものであることを知る。わたしは彼らの神、主である。

＊祭司は雄牛をいけにえにする前に頭に手を置きました。祭司が動物に触れることによって、一体となり、動物がその人の罪のために死んでくれているという重さを感じるはずでした。

＊聖別されるために、罪のためのいけにえが必要です。私たちも十字架に架かってくださったイエス様に触れる必要があります。

質問：　バプテスマを受けた時、十字架に砕かれた、駆り立てられ、喜んでいました。その気持ちを思い出してください。

聖餐式を取るこの主の日にイエスに触れることを意識しましょう。十字架の前に行き、イエスを仰ぎ見ましょう。